

ドローンで変わる自治体の災害対応 ドローン防災パッケージ

平時から備える、災害対応ドローンの飛行ルートづくりを支援します。



近年の災害発生状況・今後想定される
大規模災害で、ますます防災対策が重要に

遅延

初動が遅れると
被害は拡大

危険

崩落・浸水で
現地に近づけない

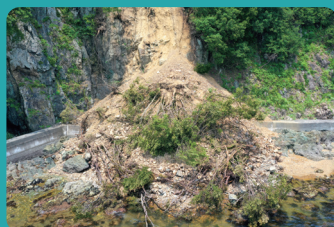
孤立

支援が遅れると
住民が孤立状態に

被害を少しでも軽減するために早期の防災対策が必要です!

ドローンなら災害調査や孤立地域への物資輸送に活用できます

大規模災害で車両が通行不能な時も、ドローンなら空から被災地へアプローチ可能。詳細な被害調査と、孤立集落への物資輸送を遂行します。遠隔操作で隊員の安全を確保し、刻々と変わる現場に即した柔軟な支援活動を可能にします。



災害時に備えたドローン飛行ルートづくりに向けて
必要な工程を**5**つのステップでトータルサポートします。

STEP.01

孤立地点
リスト化



災害時孤立する可能性のある拠点を確認し
“どこへ届けるか”を
明確にします。

孤立地域リスト化

荷物受取場所選定

STEP.02

飛行ルート
設計



安全かつ確実な
“空の飛行ルート”を
事前に構築します。

ドローン離発着場所調査

飛行ルート現地調査

ルート設計・飛行申請

飛行ルート開通

STEP.03

通信環境
テスト



“飛ばせる・見守れる”
通信環境を
事前に確保します。

機材選定

電波調査

STEP.04

デモ飛行
住民説明



自治体・住民ともに
安心できる“体制”を
整えます。

デモフライト

住民説明

オペレーション検証

STEP.05

納品



災害が発生した際にも対応が可能に

迅速

広域被害でも
数分で状況把握

安全

危険区域へ人を
行かせず情報収集

届く

孤立地域へ
物資輸送が可能

実証実験事例



和歌山県 すさみ町



すさみ町

災害対策の一環で平時・有事の際の南海トラフ地震を想定した防災訓練および遠隔制御ドローンによる救援物資配送を実施。

- 実証内容**
 - 国土交通省都市局の「令和5年度スマートシティ実装化支援事業」に選定された実証実験の一環
 - 平時(点検・町内アナウンス)、有事(救援物資配送)でのドローン活用
- 飛行距離**
 - 「道の駅すさみ」から約2.3km離れた避難所
- 運搬重量**
 - 水10Lと非常食10kgの物資をドローンで運ぶ



ドローンの活用はソフトバンクにご相談ください



SoftBank

ソフトバンク株式会社 ドローン事務局
SBMGRP-drone_jimukyoku@g.softbank.co.jp

SoraBase
Webサイト

